

# 1 新規就農者による「夏秋いちご」の産地力強化

～1億円産地の発展を目指して～

## 【概要】

下北地域における夏秋いちごの産地力強化を図るため、新規就農者の栽培技術向上とスマート農業を活用した多収・安定生産技術の確立に取り組んだ。

## 【背景・課題】

- 下北地域では夏秋いちごの産地化が進んでいる。生産者の約3分の2が新規就農者で、その多くは非農家からの新規参入である。
- 産地の維持・拡大に向けて、新規就農者の技術力向上と経営安定化が課題となっている。

## 【普及指導活動の内容】

- 夏秋いちごレベルアップ研修会において、生育ステージに合わせた栽培管理指導、先進地視察などを行った。
- 個別巡回により、新規就農者ごとの課題について対策を指導した。
- 自動施肥かん水機の導入ほ場にスマート農業試験展示ほを設置し、生育・土壌診断に基づく施肥管理を検討した。
- 新たな販売先を確保するため、全農、十和田おいらせ農協及び市場との情報収集及び意見交換を定期的に行った。

## 【成果】

- 研修会の開催により、適期の栽培管理が行われるようになった。
- 個別巡回指導により、基本技術の習得と低位生産者の技術改善が図られた。
- 新たに出荷を開始した八戸市場の評価や問題点について情報共有し、次年度の対応が検討された。

## 【対象名】

JA十和田おいらせ野菜振興会  
むつ支部いちご部会（18名）



市場を招いての農協目揃え会  
(6月8日)



夏秋いちごレベルアップ研修会  
(6月15日)



メンテナンス研修会（11月19日）